

4年生へ

贈ることば

3月は別れの時季。ことしも卒業式が近づいてきました。NL編集部がレストラン・ピリアに設けた「サンクスツリー」。臨地実習や国家試験を乗り越え巣立っていく卒業生に向け、後輩や教職員から感謝、激励の言葉が寄せられました。一部を紹介します。= () 内はペンネーム。

先輩達の偉大な背中追い続けました。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします！ (森山直太郎)

ST11期生 皆合格してください！
ガンバレ大好き♡
(無記名)

4年間楽しいことばかりではなく辛いことや大変なことが沢山あったと思います。それを乗り越えた先輩方は強いです♡今後も頑張ってください。応援しています。(天才)

ご卒業おめでとうございませう。こんな苦しい学校生活を耐え抜いた先輩方、めちゃリスペクトです☆す。いい先輩方を見習って、3年の病院実習はギャルマインドで乗り切りませう！

(今月の屋台村地酒)

感謝。
(JKKO)

先輩たちのこと応援しています！
(Ns2年 無記名)

地味に地道が1番の近道！
(無記名)

感謝です♡
Loveです♡

卒業生のみなさま♡ いつも図書館や学食、オープンスペースで必死に勉強している姿は私の“あこがれ”です！！ ◆これから大変なことい〜つぱいあると思うけど、みなさんの力でがんばってください(^.^) 応援隊長がんばるにゃん(=^・^=)

(てるてるぼーず)



皆さんの姿を見て、四綱領を学びました。ご活躍をお祈りします。(あべちゃん)

Fightデス！ ラブです！
(Peach)

4月から楽しい毎日になりますように！健康第一でがんばってください。(ミジュマル)

いつも勉強を頑張っている姿が印象的で、すごくカッコイイと思ってました☆私も先パイたちのような追いかけてたくなる背中になれるよう、頑張ります！就職先でも、頑張ってください♡ 応援してます♪
(MTのばんちょー)

毎日夜遅くまで学食や講義室、図書館に残って国試の勉強をされてる姿を見て、2年後は私たちなんだなと思っていました。本当にお疲れ様です！！この大変な4年間を乗り越えられた先輩方ならお仕事も乗り越えられると思います！！頑張ってください！私も頑張ります。応援してます！！(W)

いつも心に原点を！
くじけそうなときは仲間を思い出せ！

(Taro)

皆さんを信じています。皆さんも自分を信じて。(西里かんばらんば子供会 副会長)

ご卒業おめでとうございませう♡ 毎日勉強に励んでいる姿、とても素敵でした！ 私先輩方を見習って、卒業できるようにがんばっていきたく思います！！ いつでも熊保に遊びに来てください♡ (aespa ジゼル)

スーパー感謝。
(油淋鶏)

教育プログラムの取り組み紹介 九州ルーテル大と研修会共催

本学と九州ルーテル学院大学の共催による「数理・データサイエンス・AI教育促進のための研修会」が2月26日（水）、九州ルーテル学院大学4号館ラーニング commons で開かれ、両大学の取り組みを紹介するとともに、互いの課題について意見交換を行いました。両大学とも今年度、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」による認定を受けています。

この日は、本学共通教育センターの水本豪教授、九州ルーテル学院大学の久崎孝浩教授（心理臨床学科）が、それぞれの教育プログラムを紹介しました。多くの大学でデータサイエンス教育の導入・推進において課題となっているのが、「教育プログラムのゴール設定」「PBL(Problem Based Learning)の実践」「数理教育」です。水本教授、久崎教授とも、これら3点に言及し、今後データサイエンス教育の導入を行う大学やプログラムの充実を考えている大学等にとって問題解決の糸口を見つけるきっかけとなることを目指しています。

研修会は、本学数理・データサイエンス・AI教育専門部会長を務める竹永和典教授（共通教育センター）による総括で閉会。研修会終了後も両大学の関係者を中心に活発な意見交換が行われていました。（共通教育センター）



研修会を総括する本学数理・データサイエンス・AI教育専門部会長の竹永教授



背筋力を測る千原台高の生徒



バイオデックスを使って筋力測定を行う千原台高の生徒

高校生 学ぶ！

2月中旬、公立高校の健康・スポーツ系コースに所属する生徒たちが相次いで本学を訪れ、アリーナに設置された測定機器を用いたフィットネス測定を体験しました。

同18日（火）は鹿本高校スポーツ健康科学コースの1年生40人が来学。10分スプリントのタイム計測、加速度センサーを用いた跳躍高の測定、筋機能測定装置（バイオデックス）を用いた大腿四頭筋およびハムストリングスの筋力測定などを実施しました。測定後には、「特定の運動能力を向上させるために、他のどの要素が関連するのか」というテーマのもと、得られた測定データを基に意見を交わしていました。

同19日（水）には、千原台高校健康ス

ポーツ探究科の1、2年生80人が、バイオデックスを用いた筋力測定や跳躍高の計測を経験しました。生徒たちは、測定者と被測定者に分かれ、測定を進める中で、結果の分析方法について活発に議論を繰り広げていました。

両校生徒たちの取り組みは、測定値を基に各自の運動能力をスポーツ医学の視点から考察する演習プログラムの一環です。参加した高校生たちは自身の測定結果に強い関心を示し、講義終了後も、指導にあたった松原誠仁教授や、演習を補助した大学院生に積極的に質問を投げかけていました。

（健康・スポーツ教育研究センター）



学生支援に関する講演会

学生支援に関する講演会（学生相談・修学サポートセンター主催、FD委員会共催）が3日（月）、1300L講義室で開催され、千葉大学子どものこころの発達教育研究センターの大島郁葉教授が「女性の自閉スペクトラム症と社会的カモフラージュ」と題して講演しました。

近年、学生のメンタル不調の背景として発達障害が疑われる事例が増加しています。大島氏は冒頭、発達障害のひとつである自閉スペクトラム症を取り上げ、「障害」ではなく「個性」と捉えられつつあると紹介しました。その上で、自閉スペクトラム症と診断された人が抱える困難について説明。さらに、女性はその困難を隠して普通の人のようにふるまってしまうため診断につながりにくい指摘しました。さらに、大島氏は、自閉症に対するネガティブな見方が社会的カモフラージュにつながっていると話しました。

講演後の質疑応答では、「自閉スペクトラム症の疑いがある学生に診断を勧めたほうがいいか？」

「大学を卒業した自閉症の子たちはどのような人生を送っているか？」などの質問が寄せられ、大島氏は丁寧に答えていました。（NL編集部）

■駐車場内での事故にご注意を！

衛生委員会主催の「安全運転講習」が5日（水）、50周年記念館であり、損保ジャパン熊本支店の中澤達也さんが、通勤途上での事故を回避するための運転時の注意点について講演しました。中澤さんは、ドライブレコーダーに記録された事故の映像を上映した後、駐車場内での事故の具体例を紹介。事故の27%以上を占める駐車場の事故を起こさないために場内では徐行すること、左右前後の安全を均等に確認することが重要だと話しました。また、昨年法改正で自転車のながらスマホや酒気帯び運転が罰則の対象となったことも合わせて周知しました。

（NL編集部）



安全運転講習の会場

私の秘話 ★ ヒストリー



平緒 泰弘 事務局次長

守れなかった“当たり前”

2001年9月11日、アメリカ同時多発テロの衝撃がまだ色濃く残る秋。その頃、情報ネットワークを担当していた私は、あの日のことを今でも忘れられない。

始業間もない朝、「ファイルサーバーが使えない…」と不安げな声の電話が鳴った。ほどなくして、

「Outlookが開かない!」「システム発注できない」…。次々にクレームが押し寄せる。職場のあちこちで困惑と苛立ちが渦巻き、私たちが復旧に奔走しても状況は悪化するばかり。昼前には東京・大阪の事業所にも障害が広がり、全てのネットワークは沈黙。それから1週間、業務は麻痺し続けた。

原因は「Nimda」ウイルス。製造現

場のパソコンに届いたメールから感染が広がり、情報システム部門の使命である「安定稼働の維持」は、あっけなく崩れ去った。システムの復旧と並行して、上司とともに現場を回り、何度も頭を下げ続ける。フロアに足を踏み入れるたび、「申し訳ありません」と繰り返し、怒りと落胆の視線を全身で浴びる。疲れ果てた上司の背中が日に日に小さく見え、私も無力感に苛まれた。

「あのとき、もっとできることがあったのではないか」。その悔恨は、今もふと頭をよぎる。あれから幾度も壁にぶつかりながら、ようやく気づいた。『当たり前』を守ることこそ、決して当たり前ではないのだと。

週間行事予定（3月11日～3月17日）	
3/14（金）	卒業式
3/14（金）	卒業記念パーティー